

ホタテガイ増養殖安定化推進事業
ホタテガイ生育環境調査

色川七瀬・吉田雅範

目 的

陸奥湾におけるホタテガイの生育環境を明らかにする。

材料と方法

陸奥湾におけるホタテガイの餌料の分布を把握するため、漁場環境部で実施している資源管理基礎調査（海洋環境）浅海定線観測の St. 2 および St. 4 に当たる西湾中央および東湾中央の 2 地点（図 1）において、2024 年 1～12 月まで月毎に、ナンゼン式転倒採水器を用いて水深 0m、20m、40m の 3 層から各々試水 1ℓ を採水し、孔径 0.7μm のガラス繊維ろ紙（ワットマン GF/F フィルター）でろ過した。フィルターの残渣をアセトンで抽出し、蛍光法¹⁾により植物プランクトンの現存量の指標となるクロロフィル a とクロロフィル a の分解生成物であり、枯死した植物プランクトンの指標となるフェオフィチン a を測定した。

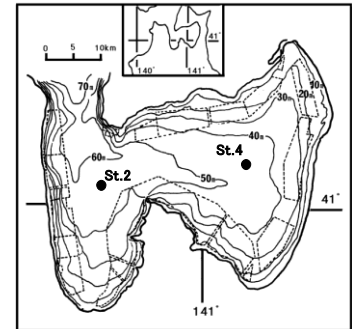


図 1. 調査地点図

結果と考察

クロロフィル a 濃度は、表 1 に示すとおり、西湾中央で 0.02～2.58mg/m³、東湾中央で 0.01～1.33mg/m³ の範囲にあった。また、フェオフィチン a の濃度は、表 2 に示すとおり、西湾中央で 0.19～6.38mg/m³、東湾中央で 0.20～9.44mg/m³ の範囲にあった。

表 1. 陸奥湾におけるクロロフィル a 濃度（2024 年）

		単位：mg/m ³											
		1月	2月19日	3月14日	4月11日	5月14日	6月11日	7月11日	8月20日	9月5日	10月7日	11月	12月
西湾中央	0m	欠測	0.30	1.57	0.46	0.77	0.07	0.13	0.22	0.16	0.23	欠測	欠測
	20m	欠測	0.29	1.49	0.50	2.58	0.02	0.13	0.28	0.24	0.28	欠測	欠測
	40m	欠測	0.21	1.74	0.95	1.42	0.11	0.26	0.21	0.12	0.10	欠測	欠測
	平均		0.27	1.60	0.64	1.59	0.07	0.17	0.24	0.17	0.20		
1975～2023年の平均値		0.64	1.23	1.67	1.02	0.61	0.56	0.47	0.34	0.27	0.36	0.52	0.47
平均値との差			-0.96	-0.07	-0.38	0.98	-0.50	-0.30	-0.10	-0.10	-0.15		
		1月	2月19日	3月14日	4月11日	5月14日	6月11日	7月11日	8月20日	9月5日	10月7日	11月	12月
東湾中央	0m	欠測	0.73	0.32	0.33	0.31	0.06	0.20	0.27	0.13	0.37	欠測	欠測
	20m	欠測	1.32	0.34	0.37	0.31	0.06	0.10	0.29	0.15	0.36	欠測	欠測
	40m	欠測	1.33	0.86	0.94	0.48	0.06	0.24	0.01	0.19	0.18	欠測	欠測
	平均		1.13	0.51	0.55	0.37	0.06	0.18	0.19	0.16	0.30		
1975～2023年の平均値		0.96	1.40	1.01	0.35	0.39	0.38	0.34	0.31	0.31	0.52	0.68	0.69
平均値との差			-0.28	-0.50	0.19	-0.03	-0.32	-0.16	-0.12	-0.16	-0.22		

表 2. 陸奥湾におけるフェオフィチン a 濃度（2024 年）

		単位：mg/m ³											
		1月	2月19日	3月14日	4月11日	5月14日	6月11日	7月11日	8月20日	9月5日	10月7日	11月	12月
西湾中央	0m	欠測	0.60	2.56	0.66	0.90	1.36	0.19	1.36	0.52	0.80	欠測	欠測
	20m	欠測	0.62	2.58	0.84	2.91	4.26	0.28	0.72	0.65	1.15	欠測	欠測
	40m	欠測	0.65	3.06	1.89	2.36	6.38	0.56	0.42	0.23	0.68	欠測	欠測
	平均		0.62	2.73	1.13	2.06	4.00	0.34	0.83	0.47	0.87		
1993～2023年の平均値		1.05	1.40	1.97	1.36	1.23	1.07	0.82	0.72	0.65	0.80	1.02	0.96
平均値との差			-0.77	0.76	-0.23	0.83	2.93	-0.47	0.11	-0.18	0.08		
		1月	2月19日	3月14日	4月11日	5月14日	6月11日	7月11日	8月20日	9月5日	10月7日	11月	12月
東湾中央	0m	欠測	0.82	0.62	0.42	0.47	9.44	0.30	0.67	0.41	1.12	欠測	欠測
	20m	欠測	1.44	0.62	0.56	0.51	5.55	0.20	0.82	0.58	1.19	欠測	欠測
	40m	欠測	1.79	1.63	1.52	1.67	8.77	0.65	6.23	0.88	0.83	欠測	欠測
	平均		1.35	0.96	0.83	0.88	7.92	0.39	2.57	0.62	1.05		
1993～2023年の平均値		1.26	1.74	1.34	0.70	0.85	0.76	0.66	0.70	0.65	0.79	1.20	1.20
平均値との差			-0.39	-0.38	0.13	0.03	7.16	-0.28	1.88	-0.02	0.26		

クロロフィル a の 3 層平均濃度は、西湾中央では、3 月に $1.60\text{mg}/\text{m}^3$ とピークとなり、5 月に $1.59\text{mg}/\text{m}^3$ と再び高くなった。6 月に $0.07\text{mg}/\text{m}^3$ と過去最低値を記録しその後も平年より低い値で推移した。(図 2)。東湾中央では、2 月に平年より低い $1.13\text{mg}/\text{m}^3$ でピークとなり、6 月に $0.06\text{mg}/\text{m}^3$ と非常に低い値を記録し、その後も西湾中央と同様に低い値で推移した (図 2)。

フェオフィチン a の 3 層平均濃度は、西湾中央、東湾中央ともに 6 月に各々 $4.00\text{mg}/\text{m}^3$ 、 $7.92\text{mg}/\text{m}^3$ と非常に高く、特に東湾中央は過去最高であった (図 3)。クロロフィル a に対するフェオフィチン a の割合は 2004 年から 2023 年まで 9.44 以下で推移していたが、2024 年 6 月に 18.5~176.6、2024 年 8 月の東湾中央水深 40m で 435.9 と非常に高い値を示した。フェオフィチン a が高かった理由について測定誤差を含めて検討が必要である。

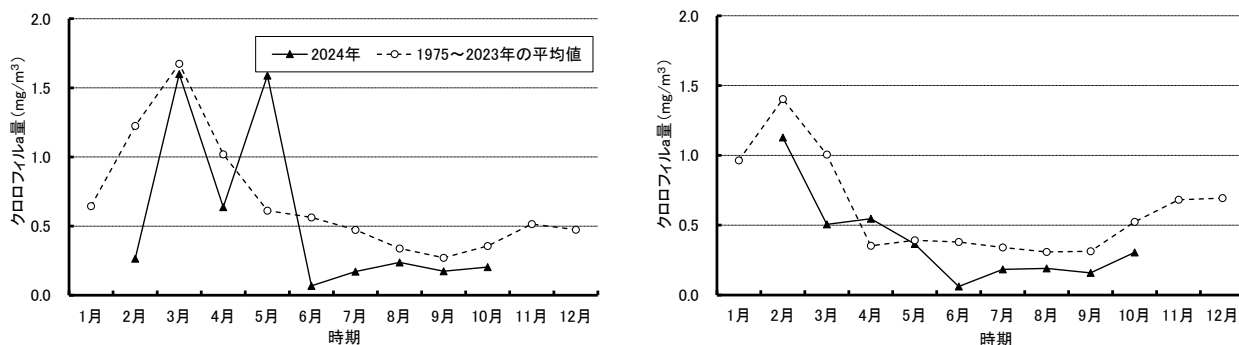


図 2. 陸奥湾におけるクロロフィル a の 3 層平均濃度の推移 (左が西湾中央、右が東湾中央)

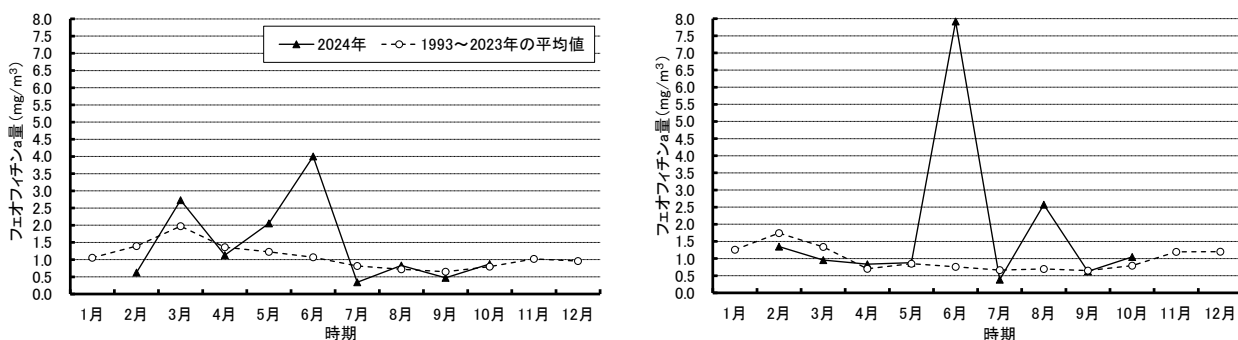


図 3. 陸奥湾におけるフェオフィチン a の 3 層平均濃度の推移 (左が西湾中央、右が東湾中央)

引用文献

- 1) Holm-Hansen O., Lorenzen C. J., Holmes R. W. and J. D. H. Strickland (1965) Fluorometric determination of chlorophyll. *J. Cons. Cons. Int. Explor. Mer*, 30, 3-15.